

# デジタル田園都市国家構想交付金 (地方創生拠点整備タイプ) 事業について

▶ 対象事業：道の駅「明治の森・黒磯」再整備事業



# ①デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生拠点整備タイプ)事業 「道の駅「明治の森・黒磯」再整備事業」

事業名	道の駅「明治の森・黒磯」再整備事業		
事業期間	令和5～6年度	事業費	801,885千円
戦略への位置づけ	《第2次》基本目標1：那須塩原に魅力ある仕事をつくる		
事業内容	<p>■対象施設：道の駅「明治の森・黒磯」 青木ふるさと物産センター          独自商品開発を行う施設、機具類、売り場等の再整備を行い、那須塩原市の観光客の増加、地域農業のブランド化による農家の収入増加と担い手の確保を図る。</p>		

指標		基準値 (R4年度)	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
物産センターの売上額 [千円]	目標	215,561	0	159,780	356,143	392,723	429,303
	実績		0	521,600			
市の観光入込客数 [人]	目標	6,772,087	6,772,087	7,772,087	9,200,000	9,350,000	9,500,000
	実績		7,512,671	7,712,457			
オリジナル商品の種類 [個]	目標	0	0	3	4	6	8
	実績		0	7			
用途別乳価より高値で仕入れた生乳の量 [kg]	目標	0	0	2,400	7,200	20,800	31,200
	実績		0	0			

事業方針等	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度第2次補正予算事業として採択。(令和5年3月30日交付決定)</li> <li>令和5年度中は旧施設の解体を行い、新築工事を行っていたことから、売上は皆減となっている。</li> <li>令和6年4月26日にオープン</li> </ul>
-------	---

## ② 「道の駅「明治の森・黒磯」」再整備事業概要

事業名	道の駅「明治の森・黒磯」再整備事業		
事業期間	令和5～6年度	事業費	801,885千円
戦略への位置づけ	1. 「雇用」	6. 「交流」	
事業内容	<p>■対象施設：道の駅「明治の森・黒磯」</p> <p>道の駅「明治の森・黒磯」を再整備することで、市の特徴的な産業である酪農と観光を振興し地域の活性化を図る。施設における乳製品の製造・販売を通じた高付加価値化を実現するとともに、日本遺産「旧青木邸」との一体感のある空間を創出することで観光誘客に寄与する。また、地域事業者との連携により、経済や資源の地域内循環と持続可能なまちづくりを推進する。</p>		

道の駅「明治の森・黒磯」外観



道の駅「明治の森・黒磯」内装



### ③重要業績評価指標（KPI）の設定・評価（道の駅「明治の森・黒磯」）

指標		基準値（R4年度）	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
物産センターの売上額 [千円]	目標	215,561	0	159,780	356,143	392,723	429,303
	実績		0	521,600			
市の観光入込客数 [人]	目標	6,772,087	6,772,087	7,772,087	9,200,000	9,350,000	9,500,000
	実績		7,512,671	7,712,457			
オリジナル商品の種類 [個]	目標	0	0	3	4	6	8
	実績		0	7			
用途別乳価より高値で仕入れた生乳の量 [kg]	目標	0	0	2,400	7,200	20,800	31,200
	実績		0	0			

#### KPI達成状況に対する所管課のコメント

【道の駅の売上額】  
酒類の販売や、レストランのメニューに小さな変化をもたらすことで、再来店のお客様にも興味を持ってもらえるような対応ができ、売り上げにつながった。

【市の観光入込客数】  
本施設を自当てに本市を訪問する観光客も多く、再整備事業の効果はあると考えられる。

【オリジナル商品の種類】  
オリジナル商品として経産牛を使用した冷凍ハンバーグ、地元の生乳を使った乳製品等を販売しており、目標を上回るペースで商品開発ができています。

【用途別乳価より高値で仕入れた生乳の量】  
施設内に乳製品加工所を設置しており、自社製品の乳製品を製造するために、製造原料となる生乳の生産者を特定したり、価格交渉をしたりする仕組みを組合と協議している。

#### KPI達成に向けた指定管理者の取り組み

- 明治の森感謝祭（7月）
- 第一回明治の森夏祭り（8月）
- 明治の森クリスマスマーケット（12月）
- チーズ工房那須の森試食会（1月）
- ドレッシング試食会（3月）

#### 今後の課題

- 平日・冬季の集客方法に工夫を凝らす必要がある。
- 観光誘客につながるために、オリジナル性にあふれた商品の品揃えを豊かにしていく必要がある。
- 酪農団体の用途別乳価よりも高値で仕入れた実績はなかった。今後については、高値で仕入れられる見込みはあるので、引き続き酪農団体と協議をしている。